

Date	Version	修正項目
2017/09/29	6.02	<p>改善項目</p> <p>1. 土石流単位体積重量γ_d 計算時の溪床勾配について、1 波想定地点勾配（土石流ピーク流量を算出する際の溪床勾配(10°)以上)を追加し、[1 波想定地点勾配]、[現溪床勾配] の2つから選択可能としました。</p>
2017/01/10	6.01	<p>不具合修正項目</p> <p>1. 非越流部の安定計算において、土石流の水深と袖部の高さが一致する断面の安定計算を行った場合、洪水時の越流水深が土石流の水深より高くなるケースで、静水圧が正しく計算されていなかったため「土石流・流木対策の技術指針に関する講習会テキスト 平成 28 年 10 月 24 日」に準拠し、修正しました。</p> <p>改善項目</p> <p>1. 土石流の流速と水深の算出において、溪流横断の形状が台形の場合は、流れの幅(B_{da})と流下断面積(A_d)の計算式を表記するようにしました。</p> <p>2. $C=0.6, m=0.5$ の場合のせきの公式に対応しました。</p> <p>3. 非越流部の安定計算において、土石流流体力の作用タイプの初期設定を「袖部天端より土石流水深D_dを下げた位置」に変更しました。</p>
2016/10/07	6.00	<p>「国総研資料 第 904 号 砂防基本計画策定指針（土石流・流木対策編）解説 2016 年 4 月」「国総研資料 第 905 号 土石流・流木対策設計技術指針 解説 2016 年 4 月」対応項目</p> <p>1. 小規模溪流における計画流出土砂量の取り扱いを適用する場合に対応しました。</p> <p>2. 土石流ピーク流量を算出する際の溪床勾配を指定できるようにしました。</p> <p>3. 半理論式による水叩きの長さの計算に対応しました。</p> <p>4. 流木捕捉工の設計に対応しました。</p> <p>5. 「重力加速度」の初期値を「9.81」に変更しました。</p> <p>6. 「えん堤」の表記を「堰堤」に変更しました。</p> <p>7. 計算書における文献名の記載について、修正を行いました。</p> <p>「砂防基本計画策定指針（土石流・流木対策編）解説 国総研資料第 904 号 Q&A」「土石流・流木対策設計技術指針解説 国総研資料第 905 号 Q&A」対応項目</p> <p>1. 土石流・流木処理計画を満足する（整備率 100%）溪流の最下流堰堤が部分透過型堰堤である場合の水通し断面の設計において、土砂含有を考慮した流量（洪水時）が土石流ピーク流量より大きい場合は、設計流量を土砂含有を考慮した流量（洪水時）と土石流ピーク流量から選択していたのを透過型堰堤と同様に土石流ピーク流量を設計流量と変更しました。</p> <p>2. 土石流の流速と水深の算出において、流れの幅B_{da}が$4\sqrt{Q_{sp}}$を超える場合、$B_{da}=4\sqrt{Q_{sp}}$とするように変更しました。（Q_{sp}：土石流ピーク流量）</p> <p>機能追加項目</p> <p>1. 副堰堤の天端の高さ（経験式、半理論式）の計算に対応しました。</p> <p>2. 揚圧力から求める式による水叩き工の厚さの計算に対応しました。</p> <p>3. 袖ブロックの形状図を作成するようにしました。</p> <p>4. 水中堆砂単位体積重量γ_s算出用の水の密度ρと水の単位体積重量γ_wを指定できるようにしました。</p> <p>仕様変更項目</p> <p>1. 天端幅を小数点第 2 位まで入力可能にしました。</p>